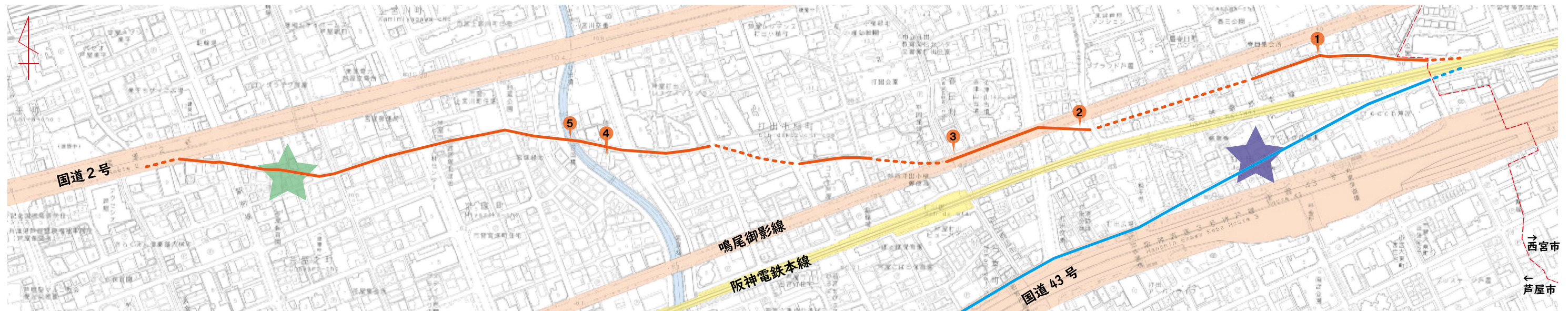


あしやの西国街道マップ

西国街道は、京都と九州の大宰府をむすぶ、江戸時代の重要な道路のひとつで、大名行列や、さまざまな歴史上の人物もこの道を通りました。このマップを参考に、芦屋市内に残る西国街道のなごりを探してみましょう！

— **本街道** … 大名行列などが通ったメインルートです。
— **浜街道** … 民衆が通ったルートです。西宮から打出に入って道が分かれ、生田神社（神戸市中央区）の南で合流します。



5 西国橋



西国街道が宮川を渡る場所にかげられた橋で、橋の名前になごりがこのされています。

4 徳本上人名号塔



徳本上人は江戸時代に活躍した僧侶で、日本全国で布教活動を行っていたため、西国街道を何度も通ったと考えられます。この石碑は、打出地域と徳本上人のゆかりを伝えています。

3 「阿保親王廟」石碑



北方向にある阿保親王塚古墳へ人々を案内するための道しるべです。

平城天皇第四皇子是ヨリ五丁

※5丁=約500メートル

2 不思議な三角ゾーン



ななめの道が西国街道のなごりです。不規則な方角に延びていたり、くねくねと曲がった道は古い道であることが多いです。

西国街道ゆかりの地名

芦屋市内には、実は西国街道にゆかりのある地名も残っています。



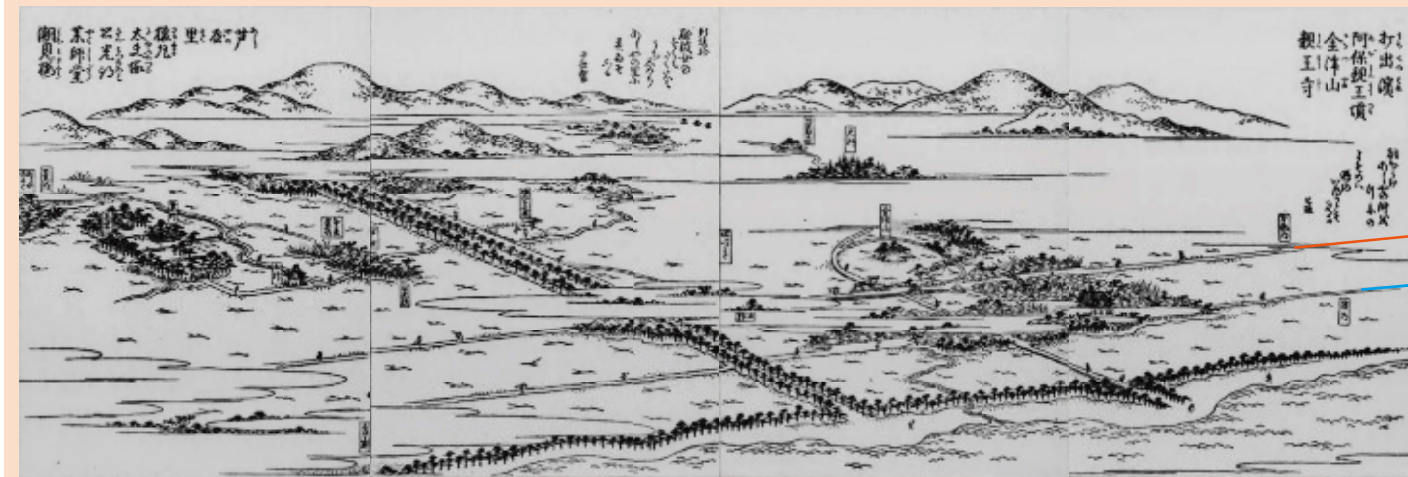
京都からやってきた人々が初めて海へ打ち出でる場所であることからつけられた地名です。



西国街道を通る人々が休むためのお茶屋さんがあったことからつけられた地名です。

『摂津名所図会』に描かれた西国街道

『摂津名所図会』は1796年(寛政8年)に刊行された、江戸時代の観光ガイドブックです。現在の芦屋市域の挿絵には、西国街道と、街道を行き交う人々が描かれています。



本街道
浜街道

1 春日町の道しるべ

道が交差する場所などには、街道を行き交う人々が迷わないように道しるべが建てられることがあります。春日町に残る道しるべには、西宮の甲山や宝塚の中山寺などへつづく道が示されています。

※丹州恵比須村は、現在の京都府福知山市夷を指します(丹州=丹後国と丹波国)。□□□は読解できていませんが、人名だと考えられます。つまり、丹州恵比須村の□□□さんがこの道しるべを建てたことが示されています。
 ※法界=境界を知らせる意味があり、道しるべのことです。

【西面】	【南面】
左	法界
妙見山	丹州
中山	恵比須村
荒神山	
甲山	
道	



【北面】	【西面】	【南面】
丹州	左	右
恵比須村	中山	西宮道
	道	

